

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

♪ジョイコン NEWS ♪

第53号 (2022年4月)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

丸2年は長い空白でした。
新型コロナウイルス感染症の影響で、第44回演奏会(2020年3月)からすべての公演を中止(延期)とする苦渋の選択になったからです。

この間、公演再開の予定会場が集団接種会場となるなど想定外のことも重なり、演奏家の方々には2度も延期して頂きました。
このメールマガジンの発行のたびに、読者の皆様から“再開を待っています”との励ましのメッセージも頂きました。

それでも、無事再開できるか心配でしたが、3月20日の再開第一回には、多くのお客様をお迎えすることができました。葵トリオの素晴らしい演奏を満喫されたことと思います。
次回以降も素晴らしい演奏家が登場いたします。どうぞご期待ください。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」(第53号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
 - ◆第56回コンサート
- 【2】今後の予定(先取り情報)
 - ◆第57回コンサート
- 【3】“のん”の音楽雑記帳♪『ピアノの雑学』

【1】次回コンサートのご案内(予約受付中)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◇2022年5月15日(日曜日)14:00開演

◇出演:黒岩航紀(ピアノ)

◇プログラム(予定)

- ◆ブラームス:2つのラプソディ Op.79
- ◆ブラームス:3つの間奏曲 Op.117
- ◆シューマン=リスト:献呈 S.566
- ◆リスト:超絶技巧練習曲「鬼火」S.139-5
- ◆リスト:ハンガリー狂詩曲 第2番 S.244-2

ほか

◇料金:大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円

◇会場:横浜市港北公会堂(東急東横線 大倉山駅より徒歩7分)
(会場が変更になっています)

第56回ジョイフルコンサートは
『躍動する音楽~多彩なピアノリズムの煌めき』
と題して、お届けします。

黒岩航紀さんからメッセージが届いています

コロナの影響で延期してしまった、大倉山公演ジョイフルコンサート。

2年越しでやっと開催出来ること、とても嬉しく思います。

コロナが収束を見せ始めた矢先、東欧で侵略があり、また違った不安と、心を痛める日々で一杯です。

ブラームスの後期の作品からは、人を人生を俯瞰的に達観し、全ての物事に対する慈しみの精神、全てを包み込む美しさを感じるのです。不安などの

心の澱みが、スッと浄化されていくような…

ただただ純愛に満ちたシューマンの献呈や、強い愛国心を感じるリストのハンガリー狂詩曲。

今だからこそ心に響く、作品の持つ大きな意味やメッセージが、あるような気がしてなりません。情熱や愛が一杯詰まった、多彩なプログラムで、皆様をお待ちしております。(黒岩航紀)

第56回大倉山ジョイフルコンサートは黒岩航紀さんの満を持してのピアノソロコンサートです。コロナの自粛のため延期、いろいろ手を尽くして再開のために決めた港北公会堂がワクチン接種会場となってしまう、再度延期となってしまいました。

さぞかし黒岩さんもやきもきされたと思いますが、快く今回の演奏をお引き受けくださり、とても嬉しく思います。プログラムも素敵な曲ばかりです。

どうぞお楽しみになさってください。

●シューマン：献呈（リスト編曲）

「献呈」はとても美しい曲です。

原曲は歌曲でシューマンが結婚式の前日に妻となるクララに送った歌曲集「ミルテの花」の第1曲です。ミルテの花は夏に咲く白い花で、日本名は銀梅花といます。

花言葉は「高貴な美しさ」「愛」「愛のささやき」です。

シューマンとクララはクララの父親のフリードリヒ・ヴィークの異常ですさまじいとも言える猛烈な反対にあい、裁判に勝って結婚を勝ち取ったと言えます。

結婚を願うシューマンに『私はクララをステージピアニストにするために育てたのであって、妻にするために育てたのではない！』などと言ったそうです。

娘を金の生る木のように見ている気がして、気分のいいものではありません。

紆余曲折あって晴れて結婚できることになったのですから、シューマンもクララもとても幸せだったことでしょう。

フリードリヒ・リュッケルトの詩にシューマンは曲をつけました。

「献呈」

あなたは私の魂 私の心
私の無上の喜び 私の痛み
あなたは私の世界 私が生きる場所
私の空 私が漂う場所
ああ あなたは私の墓 そこに
私の悲しみを永遠に葬った

あなたは私の憩い 私の安らぎ
天からの授かりもの
あなたの愛が 私を価値あるものとし
その眼差しは 私を輝かせる
あなたの愛が 私を高める
私の良心 私のより良き私！

後半にシューベルトの「アヴェ・マリア」の旋律が入っています。

それはシューマンとクララの愛が天の愛と等しく崇高なものである、と意味しているそうです。

この歌曲をシューマンと親交のあったリストがピアノ曲として編曲しました。

リストの曲は超絶技巧が散りばめられていて、超難曲ばかりです。

その中でこの「献呈」は超難曲の中では少し弾きやすいと言われていて、とても人気が高いです。

今のいろいろな情勢を考えると愛あふれる世界であることを願わざるを得ません。
甘美なメロディーに癒されて、優しい気持ちになれたらいいと思います。(A. N)

■ 予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）

☆☆第57回コンサート☆☆

◇2022年7月17日（日曜日）14時開演

◇出演：嘉目真木子（ソプラノ）

◇プログラム（予定）

◆R. シュトラウス：「明日」Op. 27-4、「献呈」Op. 10-1、「万霊節」Op. 10-8

◆アイルランド民謡：ダニー・ボーイ

◆イングランド民謡：グリーン・スリーヴス

◆寺島尚彦：さとうきび畑

◆W. A. モーツァルト：オペラ『フィガロの結婚』より“愛の日々はどこに”

◆G. ヴェルディ：オペラ『オテロ』より“アヴェ・マリア”

ほか

◇予約受付開始：2022年5月16日（月曜日）午前9時より

★プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

【3】“のん”の音楽雑記帳♪『ピアノの雑学』

現在のピアノは黒鍵36鍵と白鍵52鍵の合計88鍵でできています。

音域は7オクターブと3鍵です。

オペラや協奏曲の練習の時、ピアノはオーケストラの代役を務めることがあります。
ピアノは音域が広いので、コントラバスの最低音からピッコロの最高音まで現代の
オーケストラで使用する楽器の音域すべてをカバーすることができるのです。

今日のピアノの原型は1709年にイタリアのクリストフォリによって発明された
54鍵のピアノです。それから少しずつ鍵盤数が増えていき、1890年代には
現在と同じ88鍵になりました。

88鍵の最低音は27.5ヘルツ、最高音は4186ヘルツです。

人間の耳は約20ヘルツから20000ヘルツまでの範囲の音を聴き取ることが
できますが、音程として聴き分けることの上限は4000ヘルツ位までと言われて
います。仮にこれ以上ピアノの鍵盤数を増やして音域を拡大したとしても、人間の
耳には低音はゴロゴロというなりに、高音は音程感のない耳障りなノイズとしか
聞こえなくなって音楽的にはほとんど意味をなさなくなってしまうのです。

ピアノはどのメーカーでも88鍵ですが、オーストリア製のベーゼンドルファーは
低音部が9鍵多い97鍵の「290インペリアル」モデルと4鍵多い92鍵の
「225」モデルを特別に作っています。

「290インペリアル」はイタリアの作曲家・ピアニストのブゾーニ（1866～
1924）の要望で、バッハのオルガン曲を編曲するために既存のピアノよりもっと
低い音を欲しいというものでした。オルガン曲をピアニスティックに編曲する
方法をマニアックなまでに追及していました。

バッハの『無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番』の「シャコンヌ」のピアノ
独奏用編曲が有名ですが、原曲を一度オルガン曲に直してからピアノ独奏用に編曲
したそうです。

バルトーク『ピアノ協奏曲第2番』にはスコアに「290インペリアル」の使用を
前提とする記述があり、『ピアノ協奏曲第3番』にはエクステンドキー（低音部に
拡張した鍵盤）の使用を暗示する箇所があります。

他にはドビュッシー、ラヴェルなどが、「290インペリアル」の8オクターブの
音域によって彼らが意図した響きを忠実に再現することを可能にしたそうです。
エクステンドキーは実音として演奏されることはほとんど無くて、他の鍵盤を弾いた
時にその弦と共鳴して豊かな響きを与えるためのものと言われていています。

エクステンドキーの9鍵、4鍵は演奏者のミスタッチを防ぐためにすべて黒鍵になっています。

コンサートでどのメーカーのピアノで弾かれているかを見るのも興味深いものです。
(のん)

【編集後記】

2年間の長いブランク、初めての会場、コロナ対策など事前準備をしたつもりでも心配でした。特に、コロナ対策での様々な制限やお願いに対し、お客様のご協力があって無事開催できたと感謝しております。
至らぬ点多々あったと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。(お)

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

■メールマガジン♪ジョイコン NEWS♪の感想などお寄せください。

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>